

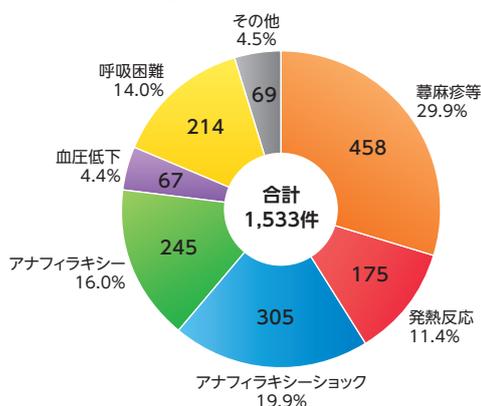


## 赤十字血液センターに報告された非溶血性輸血副作用 -2015年-

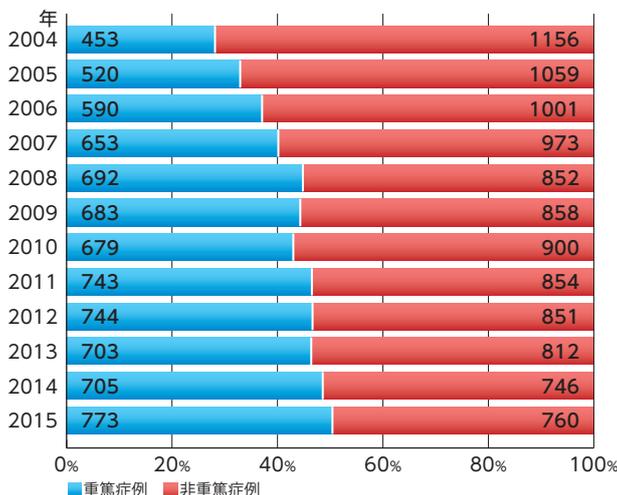
2015年の1年間に、医療機関において輸血による副作用・感染症と疑われ、赤十字血液センターに報告された症例のうち、**最も報告数の多い非溶血性輸血副作用**についてお知らせします。

### 副作用の種類

医療機関から報告された副作用を症状別にまとめました。重篤例が多い、「アナフィラキシーショック」、「アナフィラキシー」、「血圧低下」、「呼吸困難」が全体の54.4%を占めています。なお、「TRALI」、「TACO」の疑い症例の多くは、「呼吸困難」の症状に含まれます。

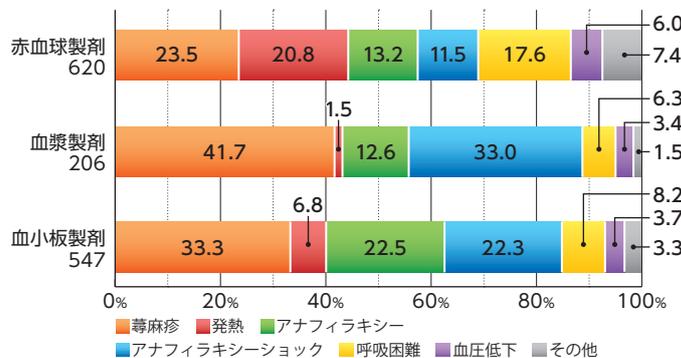
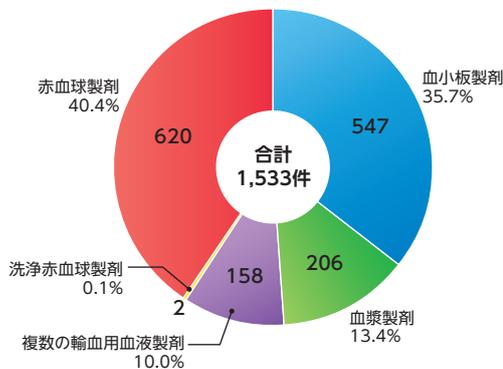


### 重篤・非重篤別報告件数



### 使用薬剤の種類及び製剤毎の副作用(症状別)発生の内訳

赤血球製剤または血小板製剤による副作用が多く報告されています。血漿製剤、血小板製剤では、蕁麻疹、アナフィラキシー(ショック)の報告割合が多くなっています。



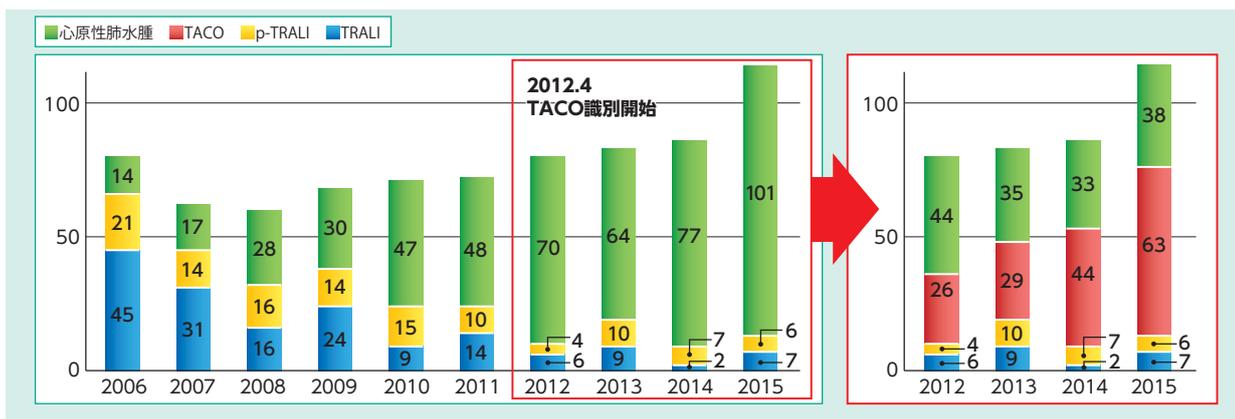
### 使用薬剤・症状別副作用報告数(対供給本数に対する頻度)(2015年)

製剤	血小板製剤	赤血球製剤*	血漿製剤
供給本数	833,780	3,314,055	955,517
蕁麻疹等	182件(約1/ 4,600)	146件(約1/ 23,000)	86件(約1/ 11,000)
発熱反応	37件(約1/ 23,000)	129件(約1/ 26,000)	3件(約1/319,000)
血圧低下	20件(約1/ 42,000)	37件(約1/ 90,000)	7件(約1/137,000)
アナフィラキシー	125件(約1/ 6,700)	83件(約1/ 40,000)	26件(約1/ 37,000)
アナフィラキシーショック	124件(約1/ 6,700)	71件(約1/ 47,000)	68件(約1/ 14,000)
呼吸困難	28件(約1/ 30,000)	70件(約1/ 47,000)	8件(約1/119,000)
TRALI	5件(約1/167,000)	3件(約1/1,105,000)	1件(約1/956,000)
TACO	8件(約1/104,000)	35件(約1/ 95,000)	4件(約1/239,000)
その他副作用	18件(約1/ 46,000)	46件(約1/ 72,000)	3件(約1/319,000)
計	547件(約1/ 1,500)	620件(約1/ 5,300)	206件(約1/ 4,600)

上記製剤には、放射線照射製剤及び未照射製剤の両方を含み、2種類以上の製剤が使用された症例は除外しました。  
※洗浄赤血球製剤、解凍赤血球製剤及び合成血液は除く。

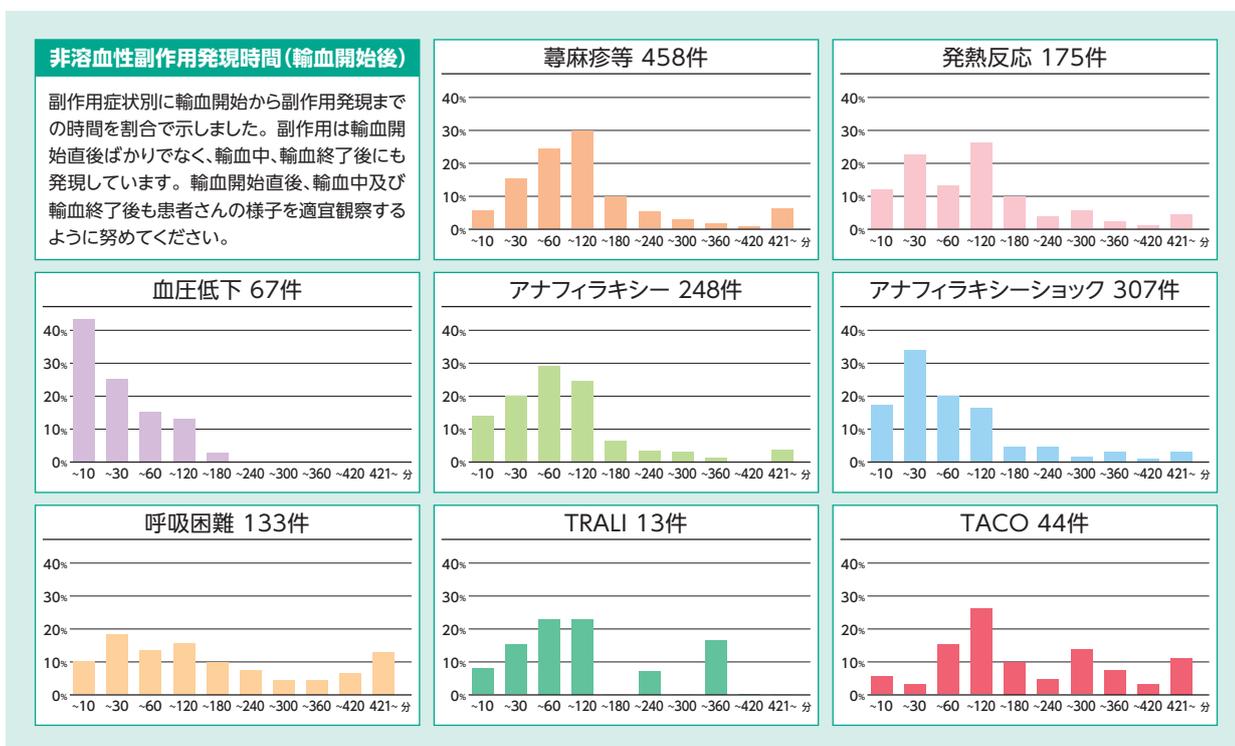
## TRALI、TACO症例の推移(2006年～2015年)

呼吸困難を認め、主治医が輸血関連急性肺障害 (TRALI) を疑った症例について、診断基準に基づいて診断された件数です。



TRALIの原因の1つとして、献血者由来の白血球抗体が関与していることが判明したため、安全対策として、2011年より男性由来新鮮凍結血漿の優先製造を開始しており、2012年以降TRALIとして評価される事例が減少しています。一方、同年4月からTRALI評価の中で、心原性肺水腫として判定した症例について、TACOの鑑別(日赤自主基準)を開始した結果、TACOとして評価される症例が年々増加傾向にあります。

## 副作用発現時間(発現時間不明例は除く)(2015年)



(参考)

【輸血関連急性肺障害 (TRALI: Transfusion related acute lung injury)】

輸血に伴う非心原性の肺水腫であり、呼吸困難、頻脈、血圧低下などを認める。

輸血後6時間以内の発症が多い。

輸血以外の原因によるARDS(急性呼吸窮迫症候群)や過量輸液、輸血による肺水腫などでも、同様の症状を示すことがある。

【輸血関連循環過負荷 (TACO: Transfusion associated circulatory overload)】

輸血に伴う循環過負荷による心不全であり、呼吸困難、頻脈、血圧上昇などを認める。胸部X線で肺浸潤影など心原性肺水腫の所見を認めることがある。

輸血後6時間以内の発症が多い。

輸血用血液製剤の使用による副作用・感染症が疑われた場合は、直ちに赤十字血液センター医薬情報担当者までご連絡ください。また、原因究明のために、使用された製剤及び患者さんの検体(使用前後)等の提供をお願いすることがあります。なお、使用された製剤及び患者さんの検体は「血液製剤等に係る選及調査ガイドライン」を参照のうえ保存してください。

〈発行元〉日本赤十字社 血液事業本部 技術部 学術情報課  
〒105-0011 東京都港区芝公園1丁目2番1号

※お問い合わせは、最寄りの赤十字血液センター  
医薬情報担当者へお願いいたします。

日本赤十字社 医薬品情報ウェブサイト  
製品情報・輸血情報等についてはこちら

日本赤十字社 医薬品情報

